

## びわ湖カーボンプレジット登録制度の新設・募集開始！

今回、県では「**びわ湖カーボンプレジット登録制度**」を設立します。御登録いただいた事業者の創出・活用の取組を県 HP 上で「見える化」することで、びわ湖カーボンプレジットの取組拡大をさらに促進します。

### 背景

- 2021年1月以降、滋賀県産のJ-クレジットを「びわ湖カーボンプレジット」と称し、県はクレジットの創出および活用の普及を促してきたところ。
- これにより、びわ湖カーボンプレジット創出および活用事例が事業者等の間で拡大してきた。

### 制度の目的、概要

#### 【目的】

- びわ湖カーボンプレジットの創出および活用の取組を“**県の登録制度**”として登録を行うことで、事業者等の取組の信頼性を高め、更なる普及促進を図る。
- 県内のびわ湖カーボンプレジットを「創出する者」と「活用（購入）する者」の取組情報を県 HP 上で紹介することで、「見える化」を図り**事業者同士のマッチングを促進**する。

#### 【概要】

- 対 象 者：(1) 「びわ湖カーボンプレジット」を創出する事業者、団体等  
(2) 「びわ湖カーボンプレジット」を活用（購入）する事業者、団体等
- 登録のメリット：○ 県 HP（ゼロナビしが）掲載による PR およびマッチング促進  
○ 登録認定書の贈呈（発行手数料無料）  
+ 県産材で作成した登録楯を贈呈



◎登録制度 HP：<https://zeronavi.shiga.jp/company/carbon-credit/subscribe/>

### 今後の予定

- 登録申請受付後、順次、登録者の取組を県 HP（ゼロナビしが）上に掲載予定。
- 登録者に対して登録楯（県産材で製作予定）を手交する贈呈式（R5年3月頃予定）を開催し、自身の取組を対外的に PR できる場を提供。

※登録楯作成の都合上、R5年1月末頃までに申請のあった事業者に対し交付を予定。

○「J-クレジット」とは

省エネルギー機器の導入や森林経営等の取組による、CO<sub>2</sub>等の温室効果ガス排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。創出されたクレジットは、カーボンオフセットや排出量削減報告への利用などの用途に使用できます。

<https://japancredit.go.jp/> (J-クレジット制度 HP)

○「びわ湖カーボンクレジット」とは

国の認証制度である「J-クレジット」に認証されたものの中で、県内で生み出されたクレジットのこと。滋賀県は、県内のCO<sub>2</sub>削減や排出量の見える化を進めるため、この「びわ湖カーボンクレジット」の普及促進の取組を進めています。

今までは、滋賀県産のJ-クレジットを「びわ湖カーボンクレジット」と称していましたが、今後、県は本登録制度に登録された滋賀県産のJ-クレジットを指すこととします。

<https://zeronavi.shiga.jp/company/carbon-credit/> (県 HP)

【特徴】滋賀県産（地元）のJ-クレジットである「びわ湖カーボンクレジット」を活用することで、一般のJ-クレジットに加えて、以下のような効果が見込まれます。



特に、森林由来のクレジットの活用は、

- 県内の森林保全
- ひいては、びわ湖の保全

に寄与できる特徴アリ！

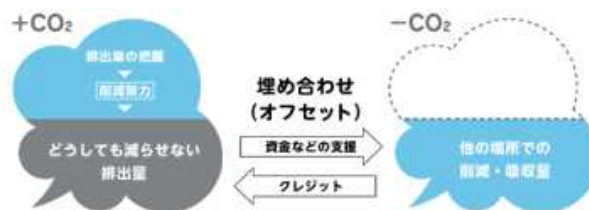


J-クレジット制度事務局 HP より引用

◎ 今夏に実施された「イナズマロック フェス 2022」は、びわ湖カーボンクレジットを活用してカーボンオフセット開催されました。 <http://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/ondanka/326677.html>

○「カーボンオフセット」とは

日常生活や経済活動において避けることができないCO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量の削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、カーボンクレジット等を活用し埋め合わせ（相殺）をすること。



令和4年 12月 2日

## びわ湖カーボンプレジット登録制度 登録申請書

滋賀県知事 へ

(住所) 滋賀県大津市京町〇—〇—〇  
(団体・法人名) 株式会社〇〇  
([代表者]氏名) 滋賀 太郎

びわ湖カーボンプレジット登録制度実施要領に基づき、下記のとおり登録を申請します。

## 1. 取組名

タイトル	【祭×脱炭素】地域に根差す「〇〇祭り」を CO <sub>2</sub> 実質ゼロで開催！
------	-----------------------------------------------

## 2. 申請者に関する情報

住所	〒520-8577 滋賀県大津市京町〇—〇—〇
団体・法人名	株式会社〇〇
所属部署	総合企画部
窓口担当者	田中
TEL	000-000-0000
E-MAIL	<a href="mailto:00000@shiga.jp">00000@shiga.jp</a>
URL	000000000000000000.com
※「登録承認書」は本メールアドレス宛てに送付します。	

## 3. クレジットに関する情報

クレジットを	<input type="checkbox"/> 創出 する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 活用(購入) する取組
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 省エネ <input checked="" type="checkbox"/> 再エネ <input type="checkbox"/> 森林 <input type="checkbox"/> 工業プロセス <input type="checkbox"/> 農業 <input type="checkbox"/> 廃棄物
クレジットの詳細 (任意)	省エネ由来: LED 照明への更新 再エネ由来: 太陽光発電設備の設置
クレジットの量 (任意)	年間約5t-CO <sub>2</sub> 程度を購入

#### 4. 取組の詳細（自由記述）

##### ○イベントの概要

当社は、CSR 活動の一環として環境×地域振興をテーマに、一般の方々にも参加いただける大規模な夏祭りとして、「〇〇〇フェスタ」を毎年開催していました。

20周年を迎えた令和4年度以降は、新たなチャレンジとして脱炭素の取組を開始！びわ湖カーボンクレジットを活用し、フェスタをカーボンオフセット開催する取組を始めました。

##### 【開催実績】

###### ■令和4年度

日時：令和4年8月7日

場所：〇〇〇ホール

オフセット対象：①フェスタで使用する電力使用に係り排出される CO<sub>2</sub>

②来場者およびスタッフの移動に係り排出される CO<sub>2</sub>



画像 1



画像 2

##### ○取組の経緯

従来より、「〇〇〇フェスタ」では来場者の方々に楽しみながら環境問題について考えて頂けるきっかけを提供していました。

その中で、近年社会課題に挙げられる「脱炭素」についても考えてもらえるような取組を始めたいと考え、フェスタをカーボンオフセット開催することを決めました。

カーボンオフセットには、滋賀県産のカーボンクレジットである「びわ湖カーボンクレジット」を採用し、地元の企業である▲▲有限公司より、省エネ・再エネ由来のクレジットを購入させていただきました。地元産のクレジット「びわ湖カーボンクレジットの購入」により、企業発症の地である滋賀県の CO<sub>2</sub> ネットゼロにも貢献ができることも、検討を前向きに進められた要因です。



画像 3

##### ○今後の予定

次年度以降のフェスタについても、カーボンオフセット開催を予定しています。

環境配慮型商品として、びわ湖カーボンクレジットを活用した商材についても、次年度以降に実現できるように現在検討を進めています。

※本登録制度の登録には、「しがCO<sub>2</sub> ネットゼロムーブメント」への賛同宣言が必要です。

賛同宣言をしていただいていない場合は、別紙「しがCO<sub>2</sub> ネットゼロムーブメント賛同書」に記入し、あわせて提出してください。

※別紙にて説明資料がある場合は、本申請書に添付し提出してください。

(お問合せ・提出先：事務局)

滋賀県総合企画部 CO<sub>2</sub> ネットゼロ推進課 ムーブメント推進係

Tel 077-528-3494 Fax 077-528-4808 Email [cg00@pref.shiga.lg.jp](mailto:cg00@pref.shiga.lg.jp)

令和4年 12月 2日

## びわ湖カーボンのクレジット登録制度 登録申請書

滋賀県知事 へ

(住所) 滋賀県大津市京町〇—〇—〇  
(団体・法人名) 〇〇生産森林組合  
([代表者]氏名) 滋賀 太郎

びわ湖カーボンのクレジット登録制度実施要領に基づき、下記のとおり登録を申請します。

## 1. 取組名

タイトル	【森林由来クレジット創出】大津の森プロジェクト
------	-------------------------

## 2. 申請者に関する情報

住所	〒520-8577 滋賀県大津市京町〇—〇—〇
団体・法人名	〇〇生産森林組合
所属部署	カーボンのクレジット事業部
窓口担当者	山本
TEL	000-000-0000
E-MAIL	<a href="mailto:00000@shiga.jp">00000@shiga.jp</a>
URL	000000000000000000.com
※「登録承認書」は本メールアドレス宛てに送付します。	

## 3. クレジットに関する情報

クレジットを	<input checked="" type="checkbox"/> 創出 する取組 <input type="checkbox"/> 活用(購入) する取組
種類	<input type="checkbox"/> 省エネ <input type="checkbox"/> 再エネ <input checked="" type="checkbox"/> 森林 <input type="checkbox"/> 工業プロセス <input type="checkbox"/> 農業 <input type="checkbox"/> 廃棄物
クレジットの詳細 (任意)	私有林における森林経営活動 ※滋賀県大津市の森林を対象としています。
クレジットの量 (任意)	在庫あり    ※詳細はお問い合わせください。

#### 4. 取組の詳細（自由記述）

##### ○概要

□□生産森林組合では、森林管理プロジェクトの登録を受け、私有林における森林経営活動(適切な森林管理)による CO<sub>2</sub>吸収量について認証された J-クレジット(びわ湖カーボンクレジット)を保有しています。

現在、保有するクレジットについては販売を行っておりますので、自社の CO<sub>2</sub>排出量削減やカーボンクレジット活用商品を検討される企業や団体の方はお気軽にお問い合わせください。



クレジットを購入いただいた代金は、更に琵琶湖の水源である森林を保全するために活用させていただきます。



■■株式会社との協定式の様子  
CO<sub>2</sub>削減と森林保全を宣言されました。

##### ○保有するクレジットの詳細

###### 【プロジェクト概要】

対象の森林 : 滋賀県大津市 ●●山近辺

クレジット発行総量 : 約1,000t-CO<sub>2</sub>

###### 【クレジット販売】 ※2022年〇月〇日時点

現在の保有量 : 直接お問い合わせください。

購入単価 : 1t-CO<sub>2</sub>あたり〇〇〇〇〇円

※詳しくは、000000000000000000.com をご確認ください。

※本登録制度の登録には、「しがCO<sub>2</sub>ネットゼロムーブメント」への賛同宣言が必要です。

賛同宣言をしていただいていない場合は、別紙「しがCO<sub>2</sub>ネットゼロムーブメント賛同書」に記入し、あわせて提出してください。

※別紙にて説明資料がある場合は、本申請書に添付し提出してください。

(お問合せ・提出先:事務局)

滋賀県総合企画部 CO<sub>2</sub>ネットゼロ推進課 ムーブメント推進係

Tel 077-528-3494 Fax 077-528-4808 Email [cg00@pref.shiga.lg.jp](mailto:cg00@pref.shiga.lg.jp)